

小牧市水道事業の経営状況について

【 目 次 】

1. 小牧市水道事業の現況
2. 小牧市水道事業ビジョン・経営戦略
3. 小牧市水道事業の経営見通し

1. 小牧市水道事業の現況

1.1 小牧市の水源

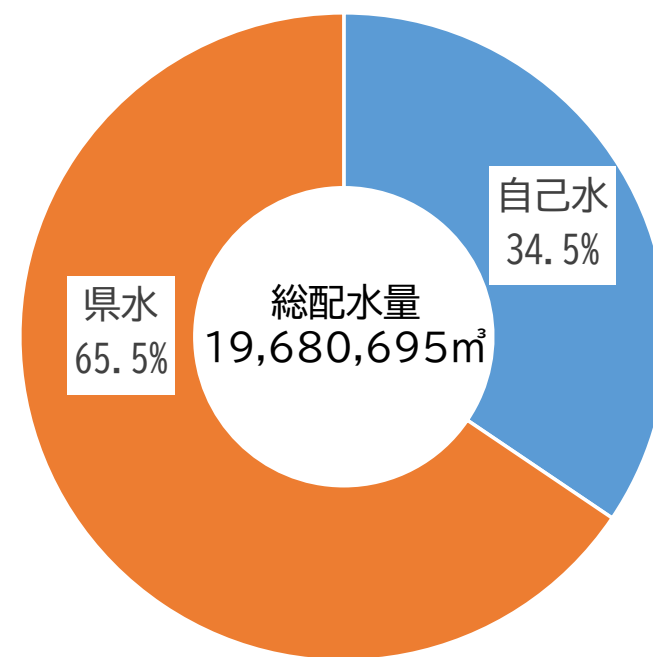
各家庭や企業用にご利用いただいている水は、横内地区周辺を中心としている地下水（**自己水**）と愛知県から購入した水（**県水**）で構成されています。

自己水

市内の地下水を水源とし、市内の浄水場等で浄水処理をしています。

県水

岩屋ダム（岐阜県）を水源とし、木曾川表流水を犬山浄水場で浄水処理をしています。



水源の割合(令和6年度実績)

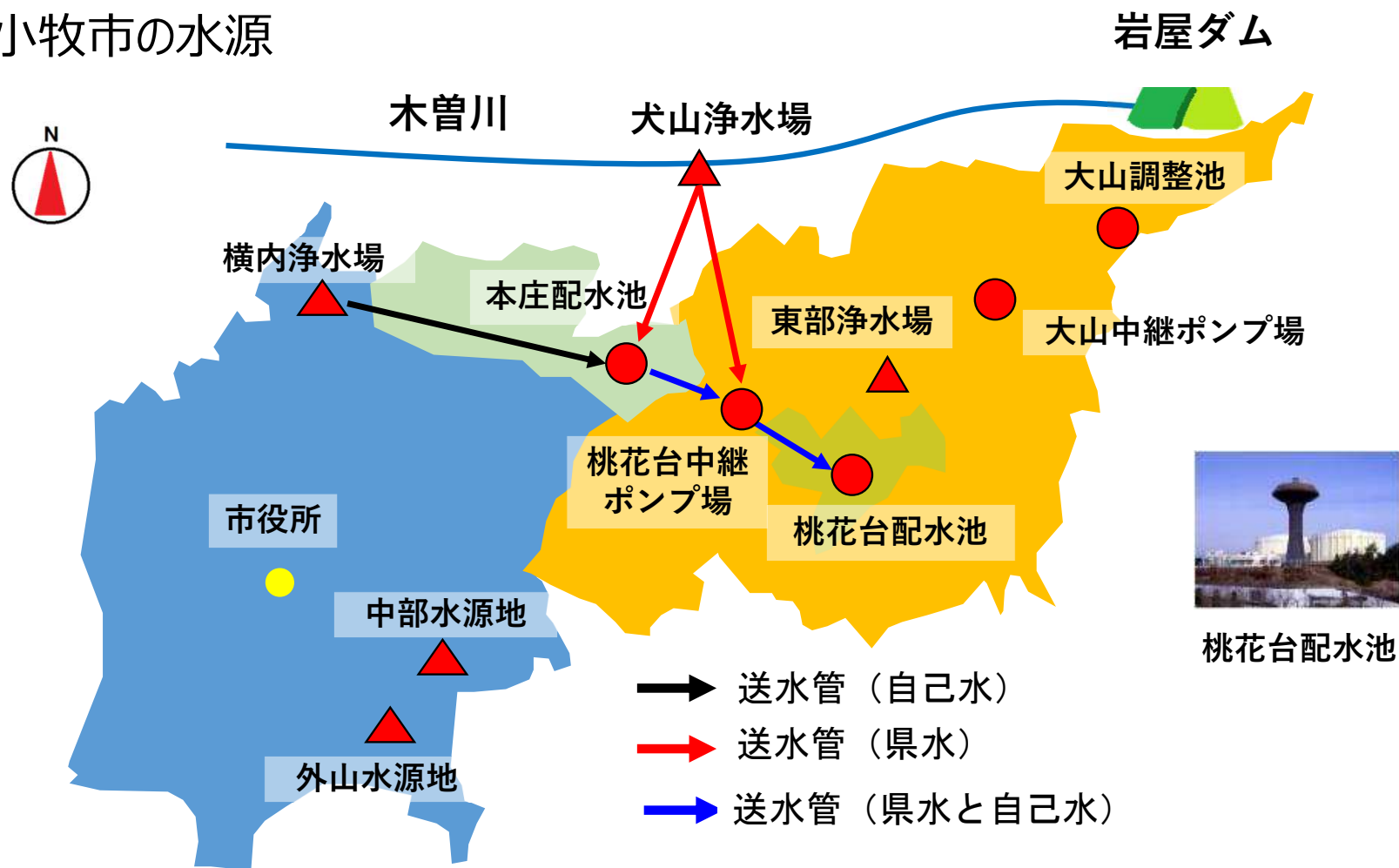
1. 小牧市水道事業の現況

1.1 小牧市の水源



1. 小牧市水道事業の現況

1.1 小牧市の水源



1. 小牧市水道事業の現況

1.2 小牧市水道事業の給水状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	傾向
行政区域内人口（人）	151,920	150,684	150,188	149,206	148,674	↘
給水人口（人）	151,837	150,601	150,106	149,128	148,597	↘
給水普及率（%）	99.95	99.94	99.95	99.95	99.95	→
給水戸数（戸）	69,706	70,193	70,668	70,851	71,362	↗
総配水量（m ³ ）	20,301,628	19,986,426	19,743,255	19,577,527	19,680,695	↘
有収水量※（m ³ ）	18,862,511	18,588,645	18,285,606	18,001,312	18,013,734	↘
有収率（%）	92.91	93.01	92.62	91.95	91.53	↘

※有収水量：料金収入の対象としてメーターなどで把握している水量のこと。

・給水戸数は増加しているが、給水人口、有収水量が減少している

1. 小牧市水道事業の現況

1.3 小牧市の水道料金

1) 水道料金表（1ヶ月、消費税込）

		基本料金	超過料金（1m ³ につき）			
区分		0～5m ³	6～20m ³	21～40m ³	41～60m ³	61m ³ 超
口径別	13mm	660円				
	20mm	1,100円				
	25mm	1,540円				
	30mm	2,750円	82.5円	132円	165円	192.5円
	40mm	4,180円				
	50mm	6,820円				
	75mm	15,400円				
	100mm	25,850円				

逓増制：たくさん使えば使うほど単価は高くなる仕組み
⇒ 節水の促進、生活用水は安く

1. 小牧市水道事業の現況

1.3 小牧市の水道料金

2) 水道料金の県内他事業体との比較 (φ13mm、1か月、消費税込)

県内43事業体中

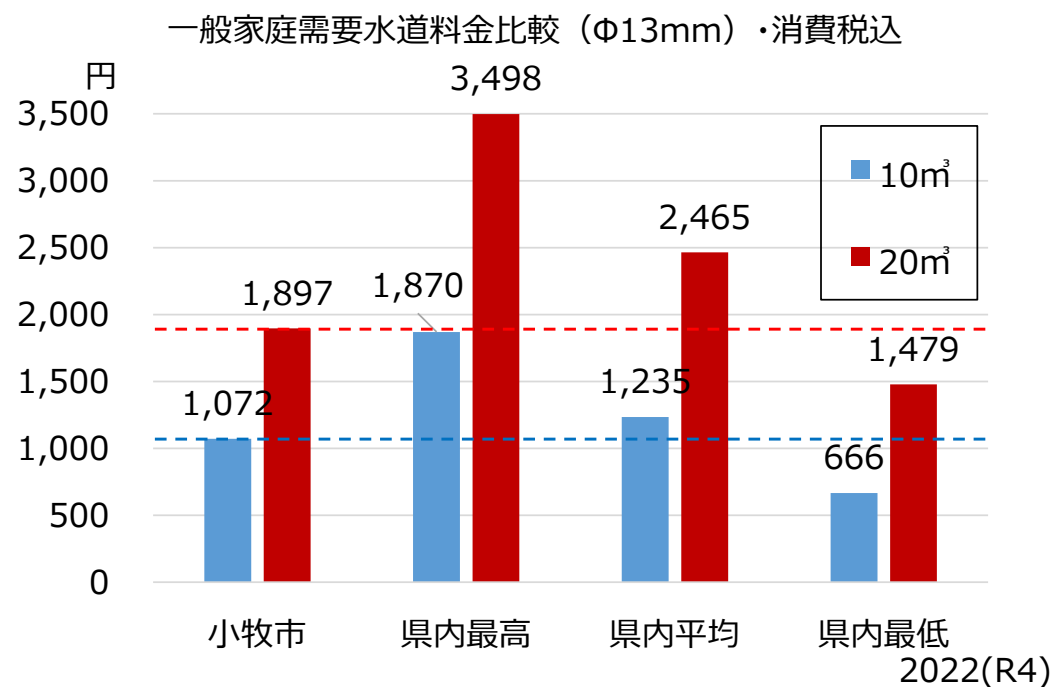
一般家庭需要 (口径: 13mm)

月10m³使用の場合

9番目に安い

月20m³使用の場合

3番目に安い



小牧市の水道料金は県内でも**低水準**

2. 小牧市水道事業ビジョン・経営戦略

2.1 「小牧市水道事業ビジョン・経営戦略」策定の経緯

○水道事業ビジョン：事業運営にあたって目指すべき方向性や実施施策を示すもの

○経営戦略：中長期的な経営の基本計画。計画期間は10年で5年に1回見直し

①総務省から、令和7年度までに経営戦略を見直して、近年の物価上昇や人口減少、老朽化対策としての更新費用を見込んで反映するよう指示があった。

②令和5年10月、愛知県が県水（県から自治体に売る水）の値上げを発表

③令和7年1月「小牧市水道施設整備計画」を策定（計画期間：20年間）

- ・将来需要を見通し、課題を抽出・整理し、合理的な整備更新計画をとりまとめる。
- ・水道事業を維持していくために今後20年間に必要な更新工事や費用が判明






令和8年3月に上記を反映した「小牧市水道事業ビジョン・経営戦略」を発行しました。
（計画期間：令和8年から令和17年までの10年間）

2. 小牧市水道事業ビジョン・経営戦略

2.2 基本目標・施策体系

小牧市水道事業の将来像を「安全な水で暮らしをささえ、未来へつなぐ小牧の水道」と決めました。

その実現方策として、3つの基本目標（安全、強靱、持続）の観点から、基本施策、主な施策をとりまとめた施策体系を作成しました。

将来像		
安全な水で暮らしをささえ、未来へつなぐ小牧の水道		
基本目標	基本施策	主な施策
 安全 安全・安心な水道	1. 水質管理体制の強化及び情報公開	①水安全計画の運用 ②水源水質の監視
	2. 安定水源の持続	①自己水源の維持管理の持続
	3. 管路の安全の確保	①漏水防止対策
 強靱 災害に強く安定した水道	4. 施設の適正な維持及び整備	①施設の長寿命化・更新 ②適正な管路更新 ③効率的・効果的な管路整備
	5. 危機管理体制の強化	①重要管路の耐震化の推進 ②応急給水・応急復旧体制の充実 ③市民との連携
 持続 次世代へつなぐ持続可能な水道	6. 財政基盤の強化	①民間活力の導入検討 ②広域化の研究 ③アセットマネジメント手法による適正な資産管理 ④収益の確保と経費の削減
	7. 組織力の向上	①技術の継承
	8. お客さまサービスの向上	①窓口サービスの向上 ②情報提供の充実

2. 小牧市水道事業ビジョン・経営戦略

2.3 経営目標

経営戦略を策定するにあたり、基本目標をもとに、次世代へつなぐ持続可能な水道を実現するため、事業の健全性維持を目的として、4つの経営目標を設定しました。

- ①単年度純利益の継続 : 収益的収支において純利益（黒字）を維持
- ②適正料金の確保 : 料金回収率100%以上
- ③内部留保資金残高の確保 : 20億円程度を確保
- ④老朽管の更新 : 20年間の平均で管路更新率1.0%

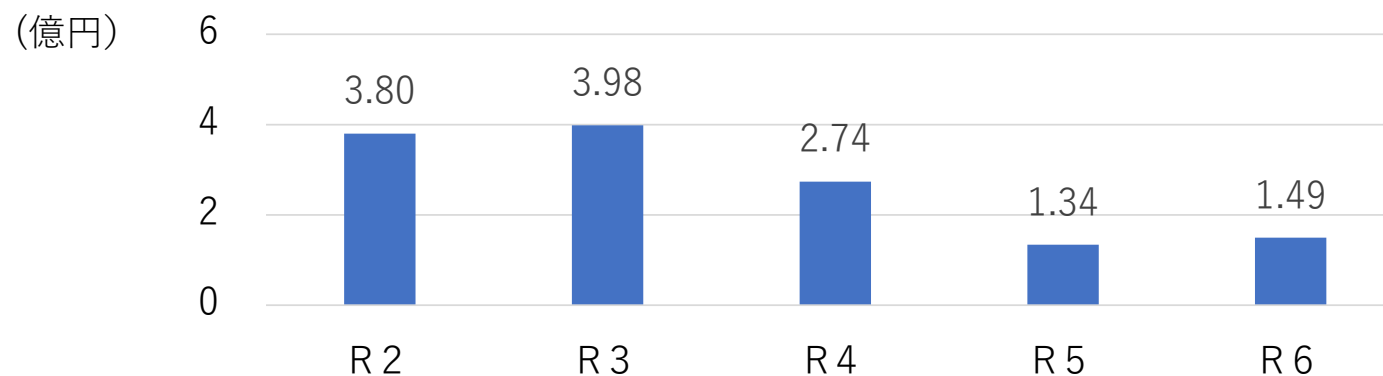
2. 小牧市水道事業ビジョン・経営戦略

2.3 経営目標①：単年度純利益の継続

黒字決算を継続しているものの、物価高騰等の影響で純利益の額は徐々に減少しています。

(税抜)(単位：億円)

	R2	R3	R4	R5	R6
収益的収入	28.60	28.22	27.95	27.96	27.77
収益的支出	24.80	24.23	25.22	26.62	26.28
純損益	3.80	3.98	2.74	1.34	1.49



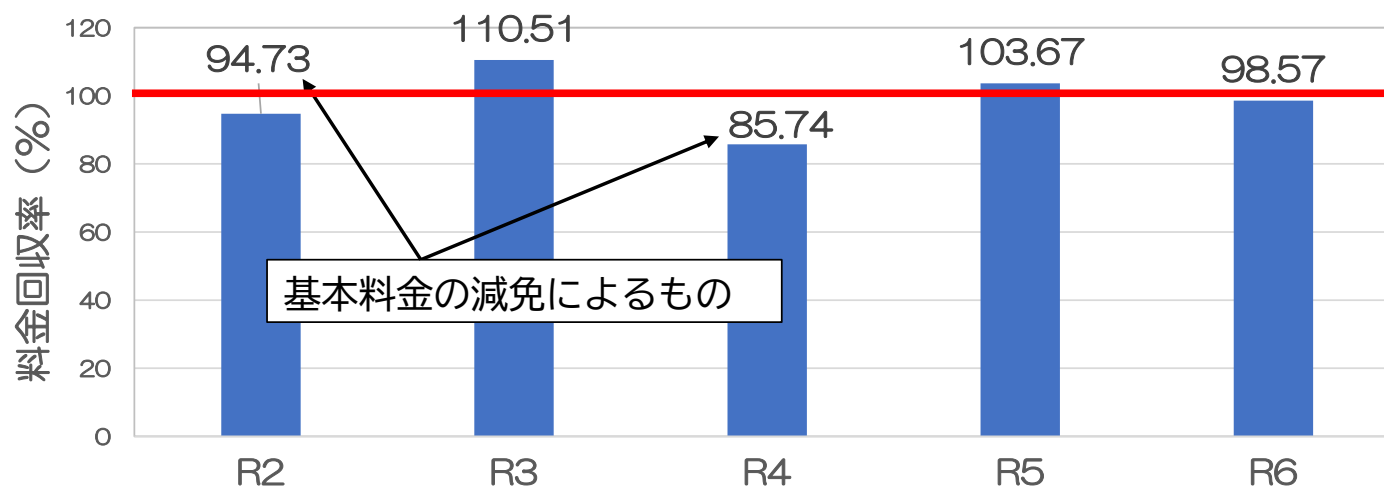
将来の投資の原資となることから**純利益の継続**を基本とします。

3. 水道事業ビジョン・経営戦略の進捗状況

2.3 経営目標②：適正料金の確保

○料金回収率（％）＝供給単価÷給水原価×100

水道料金で費用を賄うためには100%以上を確保する必要がありますが、令和6年度は100%を下回りました。



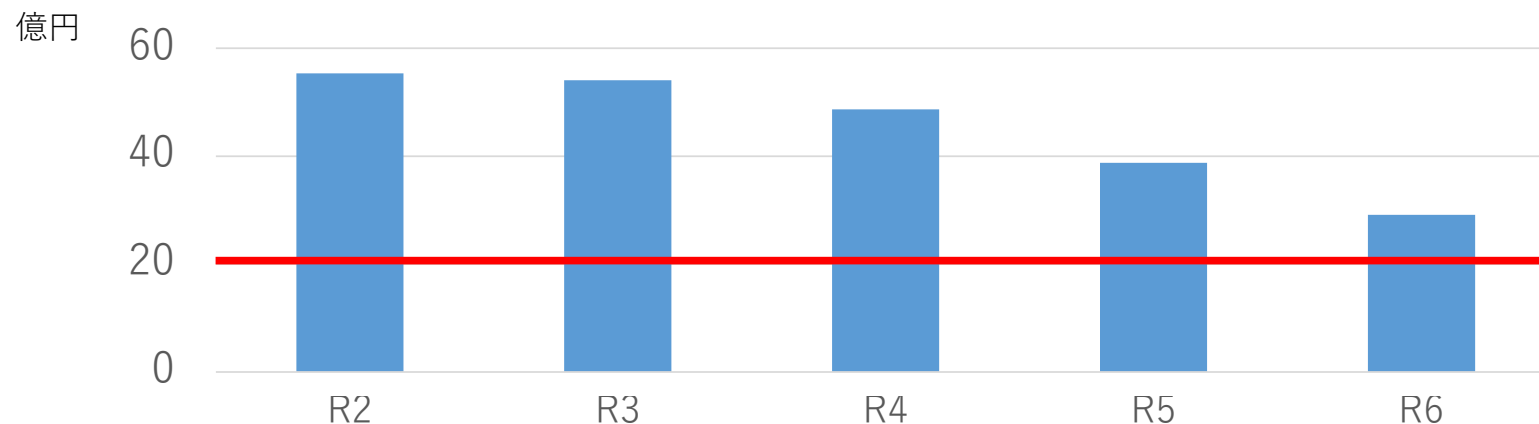
料金（供給単価）だけでかかる費用（給水原価）を賄えているかどうかを判断する指標となるため料金回収率を100%以上とします。

2. 小牧市水道事業ビジョン・経営戦略

2.3 経営目標③：内部留保資金残高の確保

横内浄水場の更新工事や管路の耐震工事の実施により、急激に資金期末残高が減少しています。

	単位	R2	R3	R4	R5	R6
資金期末残高	億円	55.36	54.09	48.67	38.76	29.12
年度内増減額	億円	△ 0.56	△ 1.27	△ 5.42	△ 9.91	△ 9.64



震災等の災害が発生してから通常業務が可能な状態に戻るまでに必要な経費相当額として、1年分の事業運営に必要な経費**20億円程度を内部留保資金残高として確保**することとしました。

2. 小牧市水道事業ビジョン・経営戦略

2.3 経営目標④：老朽管の更新

小牧市には900kmを超える管路があります。管路の更新基準年は管種によって異なりますが、最大でも100年なので、少なくとも年1.0%以上は工事をしないと、更新が追い付いていないこととなります。

指 標	R2末	R3末	R4末	R5末	R6末
管路延長 (km)	914	915	918	919	920

管種	更新基準年	
	基幹管路 (φ300以上)	小口径管路 (φ300未満)
石綿セメント管	40	40
高級鋳鉄管	40	40
ダクタイル鋳鉄管	60～80	60～100
鋼管 (ナイロンコート、ライトニング、塩化ビニルライニング)	60	60
鋼管	70	80
ステンレス鋼管	70	80
高密度ポリエチレン管	80	100
ポリエチレン管	40	40
耐衝撃性塩化ビニル管	50	50
塩化ビニル管	50	50

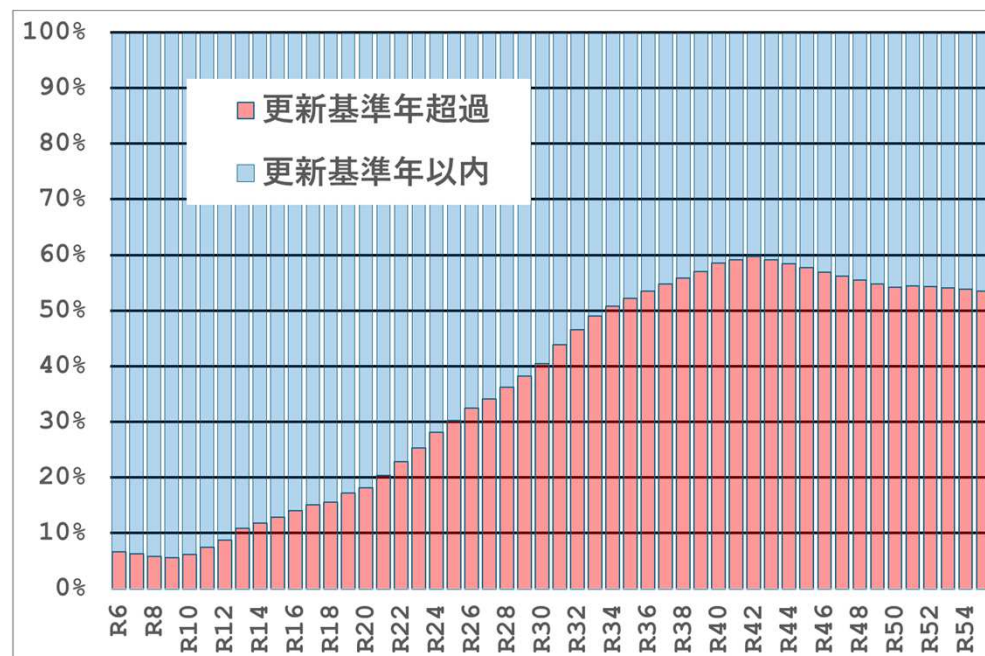
2. 小牧市水道事業ビジョン・経営戦略

2.3 経営目標④：老朽管の更新

指 標	R2	R3	R4	R5	R6
管路更新率(%)	0.59	0.55	0.39	0.50	0.47

現行ベースの**管路更新率 0.51%** (R2～R5の平均)で管路更新工事を進めると、将来的には**更新基準年超過率(更新基準年を超えた管路の割合)**が**最大60%程度まで上昇**する見込みです。

耐用年数を超過した管路が半分を超えると、緊急修繕の大幅な増加が想定されます。

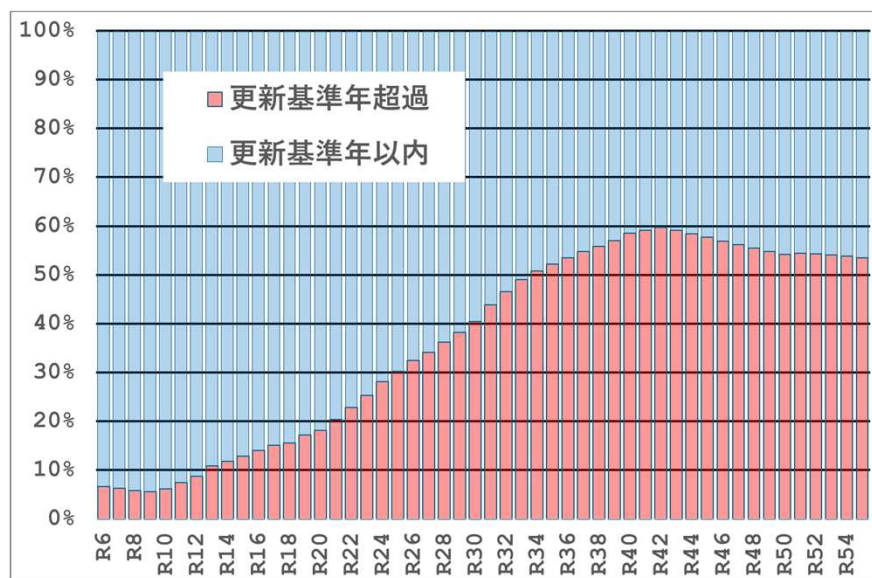


2. 小牧市水道事業ビジョン・経営戦略

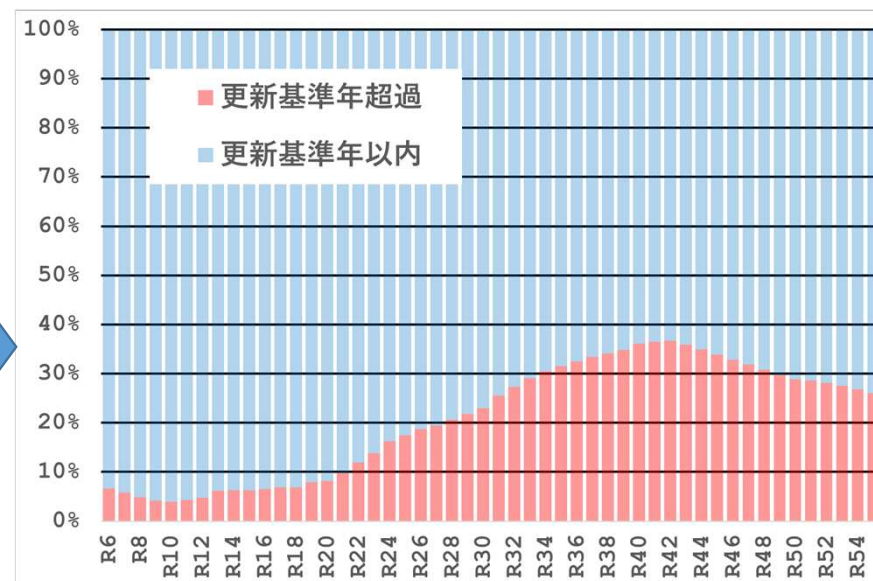
2.3 経営目標④：老朽管の更新

管路の更新基準年は最大100年であることから、管路更新率を1.0%まで上げます。

【更新率0.51%】



【更新率1.0%の場合】



管路更新率を1.0%まで上げれば、更新基準年超過率は最大でも40%未満に抑制されることから、管路更新率の目標を施設整備計画の計画期間20年間の平均で1.0%に設定しました。

3. 小牧市水道事業の財政見通し

3.1 整備費用の見込み

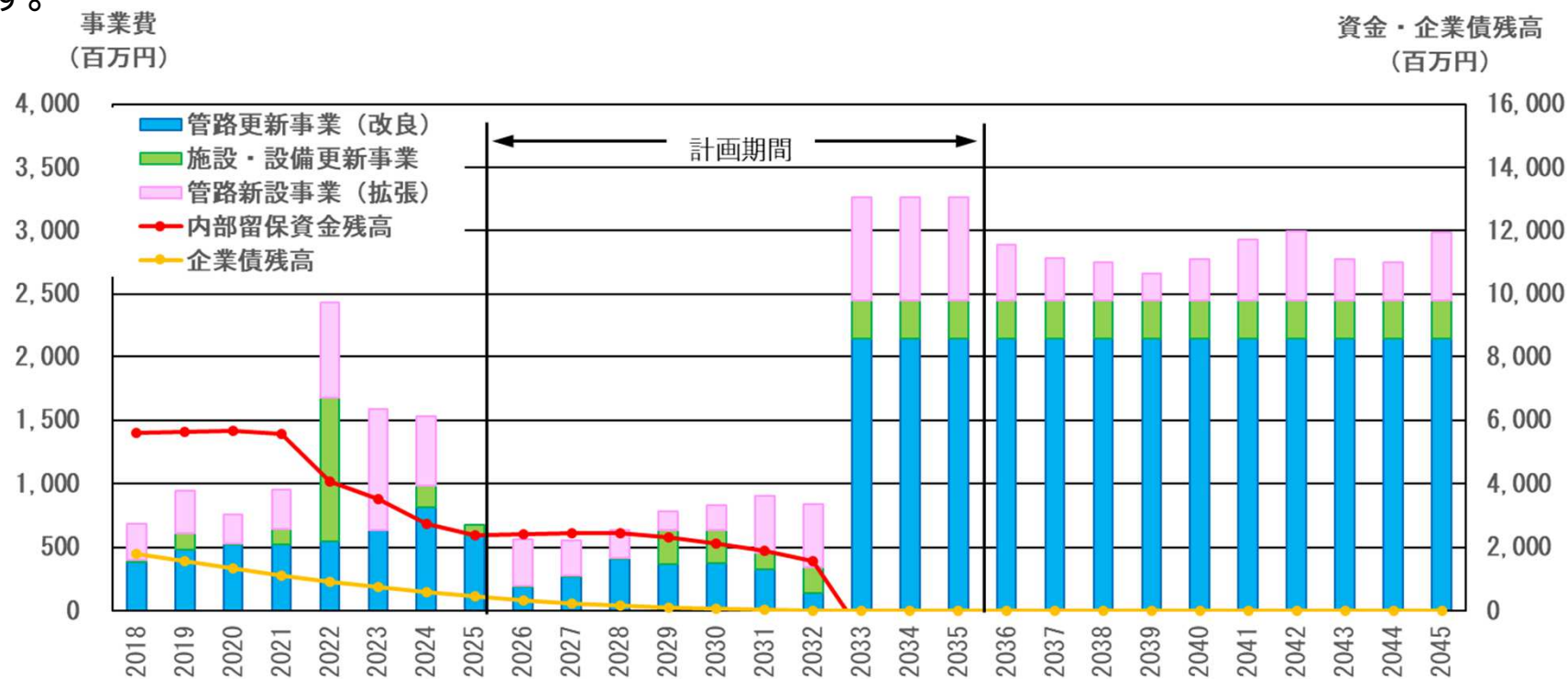
現体制下での本格的な更新事業の実施は困難であるため、**2032(令和14)年度までを準備期間として、2033(令和15)年度から本格的に管路更新事業を開始するものとして、施設整備計画の計画期間の20年間の平均で管路更新率1.0%とすることを目標として管路更新事業費を見込み、整備費用を算出しました。**



3. 小牧市水道事業の財政見通し

3.2 財政シミュレーション

今後20年間の整備費用の見込みを反映し、財政シミュレーションを実施した結果、2030(令和12)年度までは資金残高を20億円以上確保できる見通しですが、**2031(令和13)年度には資金残高が20億円を下回り、本格的な整備事業が始まる2033(令和15)年度にはマイナスに転じることが予測されます。**



3. 小牧市水道事業の財政見通し

3.2 財政シミュレーション

2045(令和27)年度までは**資金残高を20億円以上確保**するため、2028(令和10)年度に水道料金の改定をすると仮定すると**改定率69%の改定が必要**な見込みです。

